

子育てで悩んでいる親を地域の力で支援するために

家庭教育支援総合推進事業

現在の東京では、核家族化の進行や地縁関係の希薄化により、おじいちゃん・おばあちゃんから、お父さん・お母さんへ、そして子の世代へという世代間での継承が薄れ、若い夫婦のみで子育てをしなければならない状況が出てきています。特に母親の負担が大きく、ひとりで不安や悩みを抱え込む場合が多く、支援策の確立が望まれています。

不安や悩みを抱えている母親にとって、子育ての経験を持ち、一定の研修も受けている子育てサポーターは、身近な相談役として、心強い存在であり、その活躍が期待されています。

今号では、稻城市・三鷹市で行われている子育てサポーター養成講座を御紹介します。

子育てサポーター養成講座

「～子育て支援を求めている親と
子育て支援に努めたい地域の
方々のために～」

【主催】稻城市地域家庭教育推進協議会

【会場】稻城市立城山公民館



相手を理解すること

回	期日	学習テーマ・方法
1	7月4日(金)	講座オリエンテーション
2	7月18日(金)	現代の子育て事情(講義)
3	7月25日(金)	稻城市が行う子育て支援策の概要(講義)
4	9月2日(金)	グループディスカッション
5	9月16日(金)	子どもの心と体の発達を理解する(講義)
6	9月30日(金)	絵本で広がる子どもの遊び(読み聞かせを中心)
7	10月4日(金)	児童館での体験学習(実習)
8	10月8日(金)	子どもたちの現状ー児童虐待とは…(講義)
9	11月1日(金)	子育てサポーターに求められるもの(講義)
10	11月5日(金)	子育てサポーターの役割と心構え(講義)
11	12月9日(金)	講座のまとめ

11回シリーズの最後の講義である「子育てサポーターの役割と心構え」では、臨床心理士柳瀬洋美さん(稻城市子ども家庭支援センター)が、「子育て支援は、それぞれの親子が、自分たち自身の子育てを自分たち自身で見つけ育んでいく、そのための道を共に歩んでいくこと」とした上で、「いろいろな人がいて、いろいろな思いがある。違いを否定するのではなく、まず、相手をありのまま受け入れること。」そして、「支援する側も、自分自身を知つておくこと」「相槌ひとつでも、相手の心がわかれればわかるほど簡単には打てない。表面上の言葉ではなく、心の声に耳を傾ける」「かかわるのが難しい人ほど支援を必要としている」「安心して悩める居場所となってほしい」と話されました。その後、「子ども同士のトラブルをめぐる場面」「子どもを放っておいて話に夢中になる親

の場面」に分かれ、ロールプレイングを行い、子ども・親・サポーター等々の立場を心と体で感じ、意見交換をすることで共有しました。



ロールプレイングの一場面

本講座では、地域で活躍するサポーターの養成を目指し、実習を児童館で行うなど児童館や子ども家庭支援センターとの連携を図っています。

子育てサポーターリーダー養成講座

「一緒に歩こう！子育てワクワク
～子育て支援の輪を広げていきませんか～」

【主催】三鷹市地域家庭教育支援推進協議会
三鷹市教育委員会

【会場】三鷹市社会教育会館

回	期日	学習内容
1	10月4日(金)	「よその子どもをどう注意したらいいの」「つい子どもにカッとなってしまう」など普段の生活のなか、子育てについてのアドバイスを考えます。
2	10月7日(木)	子どもの突然のケガ、病気の応急処置の仕方や予備知識などについて、また保健センターで行っている子育て支援について学びます。
3	11月8日(火)	30年以上にわたってわらべうたを伝えてきた大熊さんの「わらべうたは母国語と精神の離乳食」の理念やわらべうたが育むものを実践をまじえながら学びます。「もっと読んで！」子どもは絵本が大好きです。子どもと大人の心をつなぐ絵本の世界について、読み聞かせの実演をしながら考えます。
4	12月5日(木)	

4回シリーズの最終回「子どもと大人の心をつなぐ、すばらしい絵本の世界」は、講師の山花郁子さん(子どもの本の作家・研究家)が、いろいろな絵本を実際に手にしながら、絵本の魅力、絵本がはぐくむもの、読み聞かせのポイントなどを豊富な経験に基づいて語りました。「子守歌を知らない若いお母さん方が増えていますが、絵本のなかでうたわれている子守歌もたくさんあります。子どもにうたってあげてほしい」「子どもを絵本の世界に誘うきっかけにわらべうたや童謡をもっと見直してほしい」などといった助言もありました。

読み聞かせのポイントでは、大勢の子どもを対象にする場合には、絵本の登場人物を人形にして見せるなど、子どもが絵本に集中しやすいような工夫も大切ということでした。そして実際に自

身が読み聞かせに活用している指人形、絵カードなど手作りの小物をたくさん紹介しました。

「子どもが自分の好きな絵本に出会い、子どもとの共有の時間を持てた喜びを大切にしてほしい」といった言葉には長年にわたって活動してこられた山花さんの絵本に対する愛情が込められていました。



かわいい小物がいっぱい！



こんな本も楽しいですよ！

家庭教育支援総合推進事業(文部科学省委託事業)

【趣旨】家庭教育支援の充実を図るために、子育てサポーターの資質向上を図るリーダーの養成、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供等を推進する。※この事業は、文部科学省より東京都地域家庭教育推進協議会が委託を受け、その一部を区市町村の協議会等の団体に再委託しています。